**ＥＳＤＧｓ通信　第149号　「心の中に平和のとりでを築く」に反響！**

**手島利夫**

皆様、お世話になっております。前号で山下邦明先生のご著書の紹介をさせ

ていただきましたが、いつも以上の反響をいただき、驚きとともに、気持ちを

引き締められております。代表してお一人のお声を紹介させてください。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

手島先生、

ご無沙汰しております。

数年前に八名川小学校に手島校長先生をお尋ねした○○中学・高等学校の

○○です。変わらず私立中学高等学校で英語の教員をしております。

　いつもＥＳＤＧｓ通信をいただきながら、なんのお返事もしないでいてすみ

ません。
　今日は、「心の中に平和のとりでを築く」という言葉が、今まで何度も聞いて

きたユネスコの基本の言葉ではあるのですが、特別に心に刺さりました。

ＴＶニュースを見ると今まさに進行中の戦争、殺し合いの実況中継です。
　こんな世の中で教育に携わるものは何をすればよいのでしょうか。何をしなくてはならないのでしょうか。手島先生はいつも考えるきっかけをくださいます。
どうもありがとうございます。
　先生の通信を読んで、教育に携わるものが決して希望を捨てることなく、協力し合わなくてはという思いを強くしました。
先生、どうぞお元気でご活躍を続けてください。
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　○○中学・高等学校
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　○○○○

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

○○○〇先生

　返信をいただき、うれしく拝見いたしました。

　ウクライナの状況は正に殺し合いの実況中継ですね。平和を唱えていれば

平和になるというような状況ではありません。平和の実現にはありとあらゆ

る知恵と知識を総動員して、それでも難しいという現実を見せつけられています。

　そして、このように問題の多発する世界を、それでもより良いものに変え

ていく努力も続けなくてはなりません。

　各学校、学級にはそれぞれの難しい課題もありますし、その対応もしつつ

世界に向き合える人づくりにつなげていかなくてはなりません。

　「心の中に平和のとりでを築く」は、教育の究極の課題なのかもしれませ

んね。○○先生、今回のご返信、ありがとうございました。

　これからも元気で頑張っていきましょう。　　　　　　　　　　手島利夫

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

皆様、

　私たちは「平和な社会」「持続可能な世界」の実現などと一言で言っています

が、どうすればいいのか、誰にも正解の見えない問いです。答えが見えないか

らと言って探すのを止めるわけにもいきませんね。自分自身の無力さも感じま

すが、世界から目を背けずに、力を合わせて可能性を探り続けましょう。

皆様からのお返事に感謝しております。

**＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊**

「ＥＳＤ・ＳＤＧｓ推進研究室」　手島利夫

URL=https://www.esd-tejima.com/

　　 　　　　　　事務所：〒130-0025　東京都墨田区千歳１－５－１０

　　　　　　　　 ☏＝ 03-3633-1639　 090-9399-0891

　　　 Ｍａｉｌ＝contact@esdtejima.com